


分野	44	防災・安全
施策	443	安全・安心な地域づくり
5年後の目標		自助、互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	防犯啓発・活動支援事業		会計	款	項	目	3,582,523	防災・安全推進室
			一般	2	1	10		
事業の概要								
防犯委員会の活動や地域住民の自主的な防犯活動等に対し、活動支援を行います。市と警察が協定を締結し、市民、行政、警察の相互連携により、安心・安全が実感できる住みよいまちづくりを推進します。街頭防犯カメラについては、地域の自主的な取り組みによる設置手法を検討します。								

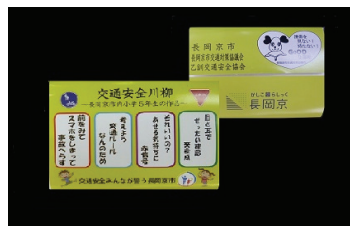
平成29年度の取組							
D (取組)	指標	自主防犯活動実施回数				単位	回
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	111(平成26年度)	目標	112	114	116	118	120
		実績	84	128			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯意識の高揚を図るため、防犯委員と自治会が連携して防犯啓発事業や防犯パトロールを128回行いました。 ・7月には「社会を明るくする運動」に参加し、駅・スーパー周辺にて啓発事業を実施しました。また、「府民防犯の日」に街頭啓発を実施しました。 ・10月には全国地域安全運動事業で街頭啓発を実施しました。また、東和苑地域で各戸を訪問し家庭防犯の重要性を訴える防犯診断を行いました。 ・12月には長岡京市一円の年末安心パトロールを実施しました。市防犯委員会に270,000円、4自治会に45,000円を補助しました。また、青色パトロール車で防犯パトロールを42回実施しました。 						防犯パトロール	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成29年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年中の市内で発生した刑法犯は前年より87件減少し367件となりました。今まで継続して実施している啓発活動の成果であると考えられます。 ・市内の危険個所に防犯灯の新設、整備を行いました。また、防犯カメラについては、平成30～31年度の2か年で市内200か所の設置に向けて、地域の意見を取り入れた配置図の作成を行いました。 	207
	課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・年々巧妙化する犯罪の手口について、最新の情報を迅速かつ的確に市民に発信できるよう警察と防犯委員と連携していくことが必要です。 			

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
1: 計画通りに進めることが適当		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防犯意識を高めていくために、防犯委員や自治会による青色回転灯パトロール車の積極的な活用を推進し、防犯パトロール等の啓発活動を継続して行うことで地域の防犯意識を高めていきます。 ・犯罪防止のため、年々巧妙化する犯罪の手口について、警察と連携し、最新の情報を迅速かつ的確に市民に発信します。

分野	44	防災・安全
施策	443	安全・安心な地域づくり
5年後の目標		自助、互助・共助、公助が相互に補完しあい、防犯・交通安全など、地域の生活の安全・安心をつくり守る力が強まっている。

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	交通安全普及事業		会計	款	項	目	1,111,357	交通政策課
			一般	8	2	3		
事業の概要								
交通事故の減少を図るため、交通ルールへの遵守、マナーを普及するための指導者育成や、啓発活動を行います。特に、自転車事故が多いことから、自転車の安全指導や啓発を強化し、合わせて自転車通行空間の確保について調整を行います。 また、新たな「ゾーン30」の検討や幹線道路における交通安全対策のための「事故ゼロプラン」の推進に努めます。								

平成29年度の取組							
D (取組)	指標	市内交通事故発生件数				単位	件
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
	199(平成26年度)	目標	193	187	181	175	169
		実績	194	138			
	指標	市内交通事故負傷者数				単位	人
	現状 (計画策定時)	年度	28	29	30	31	32
239(平成26年度)	目標	232	225	218	210	203	
	実績	205	158				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校の交通安全教育は、教員が日常的に児童に対して交通安全教育ができるための研修会や、支援教材・資料等の提供を随時行いました。幼児は、年長児を対象に交通安全行事「いちねんせいになるまえに」を、交通ボランティア等協力のもと市民ホールで実施しました。高齢者は、高齢介護課主体の「健康フェスタ」参加者案内を送付時に啓発チラシの同封、当日は参加者へ反射材の貼付、反射神経テストを行いました。 ・ 各種啓発活動は、セブン通りの人待ち駐車車両への啓発、交通ボランティアや警察と協同で「交通安全川柳と干支スタンプ」入りのティッシュを用いた自転車運転者と高齢者を対象に街頭活動を行いました。7月には、長岡第五小学校区地域コミュニティ協議会が主体の市民自転車マナーアップデーを実施しました。 							
「交通安全川柳と干支スタンプ」入りのティッシュ 							

施策の「5年後の目標」に対する評価				
平成29年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		市内交通事故発生件数・負傷者数	市内交通事故(人身事故)発生件数と、市内交通事故負傷者数は年々減少傾向にあります。平成29年中は市内交通事故発生件数、負傷者数共に、前年と比べて激減しました。	208
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年中の市内交通事故(人身事故)発生件数は138件、負傷者数は158人で、目標値を大幅に達成しました。 ・ 平成29年中の市内交通事故死者は、2人でした。 ・ 第一当事者となる高齢者のうち、原付車運転中が昨年より4件増加しましたが、自動車事故は昨年より23件減少しました。 	
課題等	・ 市内で昨年より増加した第一当事者となる高齢原付運転者と、近隣他市と比較して全体に占める交通事故負傷者数の割合が高い自転車運転者に対して、より効果的で適切な交通安全教育の手段・手法の確立が課題です。			

目標達成に向けての次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	1: 計画通りに進めることが適当 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全教育については、体系的、計画的な交通安全教育を行うことが望ましく、引き続き知識や経験があり専従できる指導員から、幼、小・中学校や、高齢者の趣味のクラブやサークル等へ資料など機会あるごとに積極的に支援し、タイムリーな情報提供を行っていきます。 ・ 高齢運転者と自転車運転者の事故対策についても、引き続き交通ボランティアや関係機関と協同によるマナー向上に向けた活動を街頭で行っていきます。